3-4　エリア別の将来ビジョン（デザインノート）

エリア③　郡中駅・北側商店街周辺デザインノート

【将来ビジョン】

暮らしの機能が集積する『郡中まちなかエリア』

■暮らしの機能の集積を活かしたエリア形成

- 地域の細やかな商業施設の魅力や、伊予市役所やIYO夢みらい館などの公共施設、スーパーなどの生活利便施設との近さを活かし、エリア内外の回遊性の向上を図ることで、子育て世代を含め、多世代が歩いて暮らせるエリア形成を図っていきます。
- 商店街内の低未利用地について、チャレンジショップや空き家リノベーションの取組みとの連携により新規出店を支援するとともに、既存の駅前広場通り商店街沿いの商店や、旭町線の路地裏の飲み屋街等と一体で、界隈性のある魅力的なエリア形成を図っていきます。
- 空き地の活用が早期に決まらない場合などの対応として、仮設利用を推進し、まちなかを訪れるきっかけづくりを図っていきます。

■既存の駐車場活用によるアクセス強化

- 西町谷上線沿い等の駐車場の週末開放など周知・活用し、エリア内への通過交通を抑制することで、子ども連れやお年寄りなど多世代が歩いて暮らしやすいまちづくりを推進します。
- 必要な位置に回遊を促すサイン設置を検討します。

■周辺エリアとの連携強化

- 商店街通りの南北の商店街間や、市役所通りも含めたつながりの強化を検討し、周辺エリアを含めたまちなか回遊の向上を図ります。
- 郡中小学校につながる通学路や、周辺エリアをつなぐ歩行者動線の改善などを図り、子ども達が放課後にIYO夢みらい館で過ごしたり、商店街や「駅前玄関口エリア」で過ごすような環境形成を検討していきます。

伊予銀行周辺における商店街通りのアクティビティのイメージ

空き家リノベーションのイメージ（松山市）

子育て世代で過ごせるオープンスペースのイメージ（岡崎市）